



株主・投資家の皆様へ



第67期 上期ビジネスレポート

2014年4月1日>>> 2014年9月30日



代表取締役社長 逢坂 紀行

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、ここに、当社第67期第2四半期連結累計期間（2014年4月1日から2014年9月30日まで）のビジネスレポートをお届けし、当社グループの事業概況をご報告申し上げます。

当該期間における経済情勢につきましては、国内では景気は緩やかな回復基調にあるものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要反動減からの個人消費の回復に遅れが見られ、海外では中国をはじめとするアジア新興国の経済に持ち直しの動きが見られたものの力強さを欠き、引き続き先行き不透明な状況にありました。業績につきましては、ケミカルズは、中国市場における加工製品および微粉体製品の販売が堅調に推移しましたが、主力の粘着剤関連製品の販売が中国での液晶ディスプレイ用途向けで増加したものの、両面テープ等の一般用途向けで減少したことにより前年同期の水準に至りませんでした。装置システムは、国内での設備関連の受注が低迷するなか、工事完成高が減少しました。これらの結果、売上高は前年同期を下回り、利益につきましても、原料価格の上昇が大きく影響し、前年同期を下回る結果となりました。

下期につきましては、当社グループを取り巻く事業環境は、引き続き先行き不透明な状況にありますが、中国・東南アジアでの販売体制強化、中国での生産能力増強によるコスト競争力向上、市場・顧客ニーズに応じた新製品展開に注力し、収益確保に努めるとともに、新規事業の柱として、ナノインプリント事業のビジネスモデルの構築に注力してまいります。

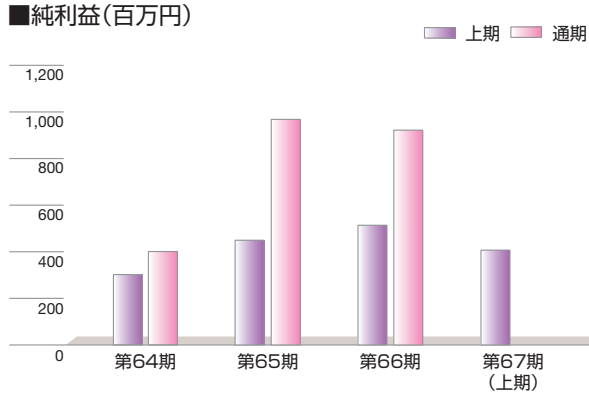
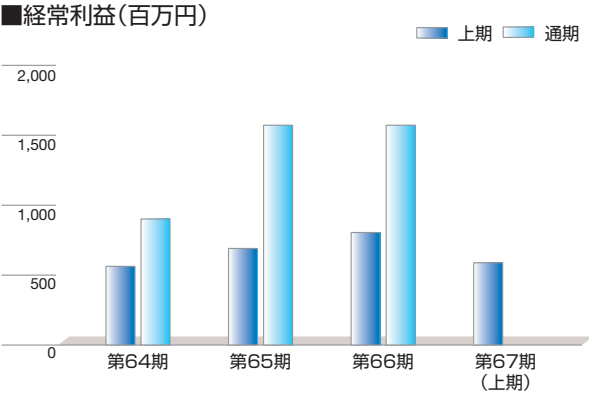
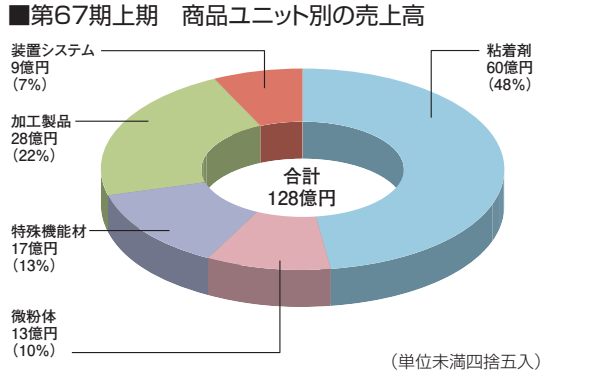
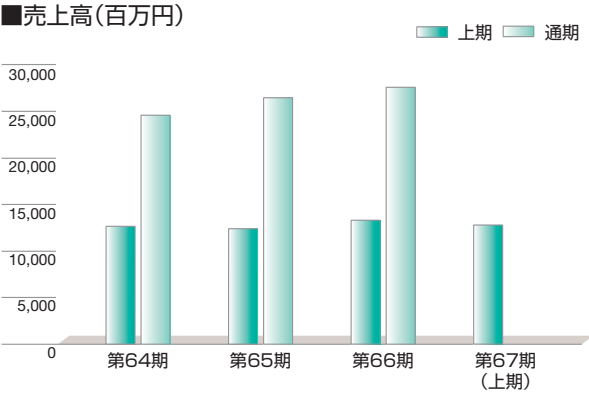
また、2014年度を初年度とする連結中期経営計画「New Value-2016」の基本方針に則り、環境変化に強い事業構造への転換を目指して、中国・東南アジア地域での事業拡大と新たな製品・サービスの創出にグループの総力を結集して取り組んでまいります。

今後も、当社グループは、収益基盤の強化と更なる成長を目指すとともに、企業の社会的責任を果たし、企業価値の向上に全力を尽くしてまいりますので、皆様のより一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

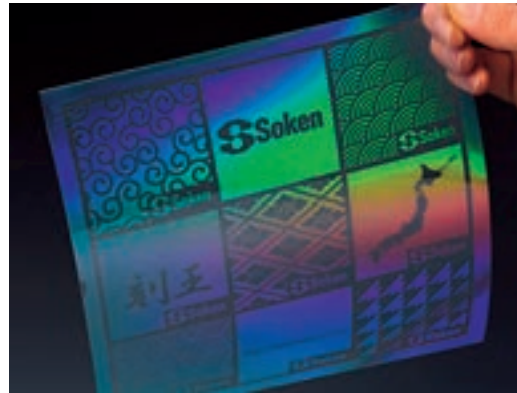
2014年11月

営業成績および財産の状況の推移（連結）

区 分	第64期		第65期		第66期		第67期
	上期 (平成23年4月1日～ 平成23年9月30日)	通期 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)	上期 (平成24年4月1日～ 平成24年9月30日)	通期 (平成24年4月1日～ 平成25年3月31日)	上期 (平成25年4月1日～ 平成25年9月30日)	通期 (平成25年4月1日～ 平成26年3月31日)	上期 (平成26年4月1日～ 平成26年9月30日)
売上高 (百万円)	12,678	24,573	12,378	26,434	13,288	27,561	12,786
経常利益 (百万円)	562	898	691	1,566	802	1,560	588
純利益 (百万円)	302	401	450	967	514	913	407
1株当たり純利益 (円)	36.45	48.47	54.43	116.79	62.07	110.30	49.20
純資産 (百万円)	16,282	16,336	16,510	17,691	18,999	19,890	19,750
総資産 (百万円)	27,315	27,758	28,824	31,778	33,099	34,026	32,349



(注記) このレポートでは、「第2四半期累計」を「上期」と記述しています。



大型化に成功し、 実用化レベルに進化した ナノインプリント技術※

※ナノサイズの凹凸のある微細形状型（モールド）をプラスチックなどに押し付けて、ハンコのようにその形状を転写する表面加工技術です。
ナノ（nm）：10億分の1m マイクロ（ μ m）：100万分の1m

フィルムモールドは、 ロール転写で量産設備に対応

当社では、2005年よりナノインプリント技術に注目し、さまざまな性能を発揮する凹凸パターンや型となる樹脂などの研究を続けてまいりました。事業化に向けて樹脂設計から製造、品質管理、出荷まで一貫した体制の構築を目指しており、特に高レベルでの品質要求に応えるためクリーン環境での製造・検査技術の確立を進めております。

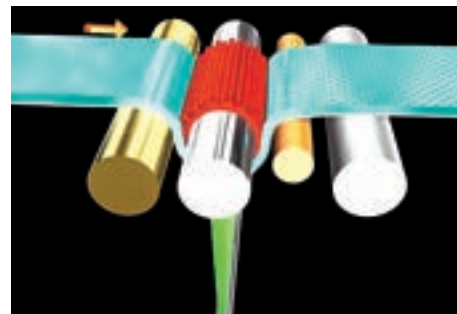
2013年には、当社独自の大面積化技術により世界で初めて1m超のフィルムモールドの開発に成功しました。これによって幅広ロールで連続転写を行う量産設備に組み込むことが可能となったことで、実用化への期待が高まっており、お客様からの引き合いが増えております。



◀フィルムモールド「フレフィーモ®」
1mを超える大面積にも対応



▲クリーン検査ルーム



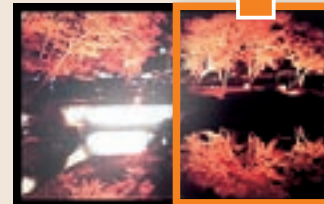
▲図の赤い部分にモールドをまきつけることにより、連続して転写することが可能です。

注目される微細形状効果

ナノインプリント技術はLEDや有機EL、光通信といった比較的新しい分野での活用が話題となっていますが、既存分野でもコスト削減、性能向上、新たな機能付与を促す革新的技術として注目されています。

●反射防止フィルム

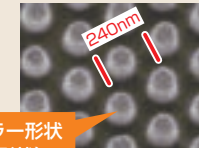
モスアイ形状
(蛾の目形状)



円錐型のモスアイ形状により高い反射防止性能を実現し、ディスプレイへの光の映り込みを防ぎます。

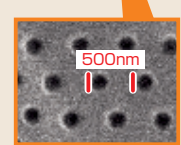
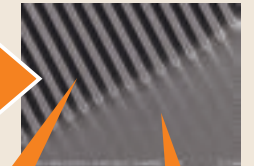
●超撥水フィルム

ナノピラー形状
(蓮の葉形状)



ナノピラー形状を特殊な樹脂に加工することにより、従来にない超撥水性能を発現します。

●加飾用フィルム



ラインやドット形状の複合パターンにより着色剤を使わずに発色しており、見る角度や光の当て方で色が変わります。

スマートフォンや家電、包装容器、玩具の表面にアイキャッチ効果を演出します。

海外への積極的な プロモーション活動

ナノインプリント技術の実用化は海外市場が先行しています。そのため、当社は国内のみならず海外での展示会や学会発表を積極的に行い、「綜研化学のナノインプリント技術」の認知度向上に努めております。最近では、韓国、台湾、欧州のお客様から多くの引き合いを得ております。



第13回ナノインプリント技術国際会議（2014年）



財務諸表(連結)

■連結貸借対照表（要旨）（単位：千円）

	第67期上期 (平成26年9月30日現在)	第66期 (平成26年3月31日現在)
科 目	金 額	
(資産の部)		
流 動 資 産	17,088,279	18,200,487
固 定 資 産	15,261,650	15,826,271
有 形 固 定 資 産	12,825,151	13,265,881
無 形 固 定 資 産	202,106	230,613
投 資 そ の 他 の 資 産	2,234,392	2,329,776
資 産 合 計	32,349,929	34,026,758
(負債の部)		
流 動 負 債	10,473,099	12,034,276
固 定 負 債	2,126,097	2,101,586
負 債 合 計	12,599,197	14,135,863
(純資産の部)		
株 主 資 本	17,447,588	17,329,967
資 本 金	3,361,563	3,361,563
資 本 剰 余 金	3,402,816	3,402,816
利 益 剰 余 金	10,694,259	10,576,585
自 己 株 式	△ 11,051	△ 10,997
その他の包括利益累計額	1,341,267	1,628,267
少 数 株 主 持 分	961,877	932,659
純 資 産 合 計	19,750,732	19,890,895
負 債 及 び 純 資 産 合 計	32,349,929	34,026,758

■連結損益計算書（要旨）（単位：千円）

	第67期上期 (平成26年4月 1 日から 平成26年9月30日まで)	第66期上期 (平成25年4月 1 日から 平成25年9月30日まで)
科 目	金 額	
売 上 高	12,786,184	13,288,907
営 業 利 益	650,796	820,245
経 常 利 益	588,796	802,783
四 半 期 純 利 益	407,694	514,309

■連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）（単位：千円）

	第67期上期 (平成26年4月 1 日から 平成26年9月30日まで)	第66期上期 (平成25年4月 1 日から 平成25年9月30日まで)
科 目	金 額	
営業活動によるキャッシュ・フロー	465,373	244,462
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 883,842	△ 855,249
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 722,807	69,604
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 87,118	309,808
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 1,228,394	△ 231,373
現金及び現金同等物の期首残高	5,398,596	5,387,163
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,170,201	5,155,790

会社の概況

■会社概要

社 名 綜研化学株式会社

資本金 3,361,563千円

主要な事業内容

- ケミカルズでは、粘着剤、微粉体、特殊機能材、加工製品等の開発、製造、販売を行っております。
- 装置システムでは、装置・システムの販売、生産システムのエンジニアリング、プラントのメンテナンス、熱媒体油の輸入販売を行っております。

■役員（平成26年9月30日現在）

取締役会長	中 島 幹
代表取締役社長	逢 坂 紀 行
取締役	御手洗 寿 雄
取締役	佐 藤 雅 裕
取締役	福 田 純 一 郎
常勤監査役	阿 部 英 紀
監査役	池 田 裕 治
監査役	北 尾 哲 郎
監査役	荒 井 寿 光

注）監査役北尾哲郎氏および荒井寿光氏は社外監査役であります。

■事業所

事 業 所 名	所 在 地
本 社	東京都豊島区高田三丁目29－5
狭 山 事 業 所	埼玉県狭山市広瀬東1－13－1
浜 岡 事 業 所	静岡県御前崎市池新田8665－1

■主要な子会社等

- 綜研テクニクス株式会社
- Soken Chemical Singapore Pte. Ltd.
- 綜研化学（蘇州）有限公司
- 寧波綜研化学有限公司
- Soken Chemical Asia Co., Ltd.
- 綜研高新材料（南京）有限公司

注）Soken Chemical Singapore Pte. Ltd. は、2014年9月30日の当社取締役会において、解散することを決議しております。

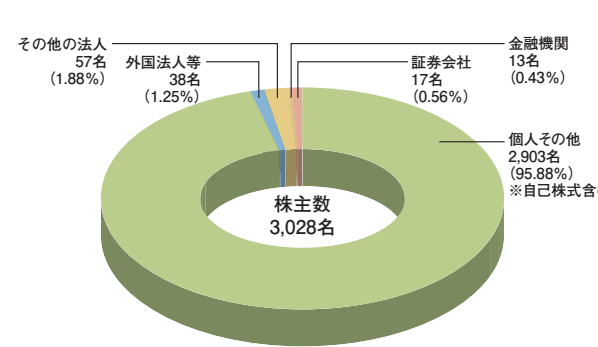
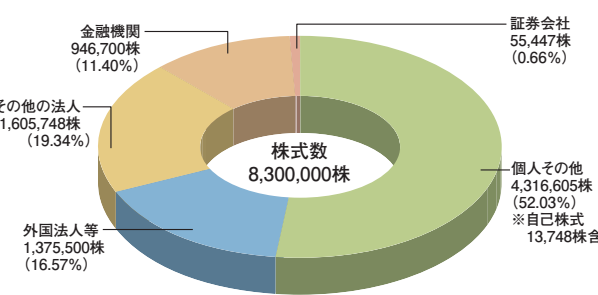
株式の状況

■発行可能株式総数 33,200,000株

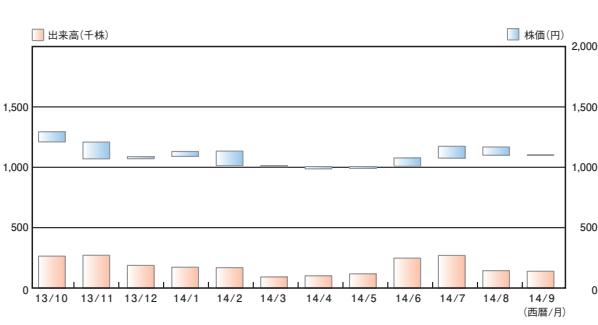
■発行済株式の総数 8,300,000株

■株主数 3,028名

■所有者別株式分布状況



■株価（高値・安値）および株式出来高の推移



株主メモ

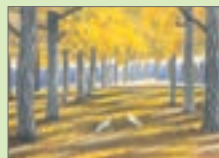
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
期末配当金支払基準日	3月31日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
単元株式数	100株
公告の方法	当社のホームページに掲載 URL: http://www.soken-ce.co.jp
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ (スタンダード)

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。



本レポートの表紙絵は、障がい者ライブラリー「アートビリティ」に登録されている、アーティスト飯田弘道さんの作品(作品名:「秋のよそおい」)を使用させていただきました。

◎飯田 弘道 (いいだ ひろみち)

1936年生まれ、静岡県在住。
多摩美術大学卒業後、フリーのカメラマンとして活躍し、APA展入選や、JPS展銀賞など、数多くの受賞歴を誇る。
第20回アートビリティ大賞・日立キャピタル特別賞受賞。
第21回アートビリティ大賞受賞。

◎アートビリティ

1986年に社会福祉法人東京コロニーが、障がい者アーティストが自立し、自活することを支援するために設立したアートギャラリーで、作品の使用料がアーティストに還元されています。

2014 社会・環境報告書



環境保全のための活動内容や、CO₂排出量などの実績データ、社会貢献活動について詳しくご紹介しております。

当社ホームページに掲載しておりますので、是非ご覧ください。



綜研化学株式会社
Soken Chemical & Engineering Co., Ltd.

本社 〒171-8531 東京都豊島区高田三丁目29番5号
TEL : 03-3983-3171 FAX : 03-3988-9216
URL : <http://www.soken-ce.co.jp>